助成・寄付寄贈報告

◆福島県ふるさとふくしま交流・相談支援事業補助金　（H28 年度 OHANA 学校等の活動に対して）
◆静岡県社会福祉協議会ふれあい基金助成金　（H29 年 2 月 OHANA 交流会に対して）
◆市川園社会福祉基金助成金　（みつばち用プリンター、机、プレイマット、綱引き綱　等）
◆大石様より　寄付金　　◆勝又様より　寄付金　　◆斉藤様より　カーペット　**皆様へ厚く御礼を申し上げます**

研修会・講演会のご案内

◆ 定期研修会　　参加費：Be サポ会員無料、非会員 1,000 円
参加資格：守秘義務を課せられた専門職の方が参加できます。初めて参加される方は Be サポートまでご連絡ください。
①「子どものそだち研修会」H29 年 5/24、7/19、9/20、11/22、1/24　18:30～21:00　奇数月水曜日開催
場所：プラサヴェルデ
子どものこころの健やかな成長を支援するスクールカウンセラー、児童支援員等のための研修会です。事例検討、講義等を通して学び、子どもの支援者ネットワークとしても生かされます。
②「東部アセスメント研究会」H29 年 6/21、8/23、10/18、12/20、2/21　18:30～21:00　偶数月水曜日開催
場所：プラサヴェルデ
事例検討を中心とした心理アセスメントの研究会です。参加者同士で意見交換をしあい、学びを深めます。
◆ 伊東市健康推進課主催　うつ・ゲートキーパー養成研修（2 回シリーズ　参加無料）
9 月 5 日（火）12 日（火）午後 1:00～3:00（於：伊東市役所）　お問合せ：伊東市健康推進課　0557-32-1583

Be サポート業務一覧

相談・カウンセリング事業
カウンセリング、プレイセラピー、各種心理検査

医療・保健・福祉・教育等 地域機関への協力
静岡県ひきこもり支援センター居場所設置運営事業委託
伊豆市・伊豆の国市・清水町 母子保健事業
（乳幼児健診・発達相談・療育教室）
函南町・清水町・伊豆市教育委員会
（就学支援・特別支援教育・巡回相談）
伊東市・富士市 市民メンタルヘルス相談
県立高校スクールカウンセラー・学校支援心理アドバイザー
県および市町主催ゲートキーパー養成事業
NPO 法人静岡犯罪被害者支援センター
社会的養護関係施設第三者評価事業

被災者支援事業
東日本大震災被災者支援活動「OHANA」

企業・事業所への支援事業
メンタルヘルスカウンセリング
企業研修会への講師派遣

研修・啓発事業
専門職対象の定期研修会開催
一般市民対象の講演会開催

児童発達支援事業
障害児・者総合サポートセンター　みつばち
（児童発達支援「あんず」・放課後等デイサービス「かりん」
保育所等訪問支援
指定計画相談支援・指定障害児相談支援）

平成 29 年 1 月～5 月　　依頼協力事業
◆ 伊東市教育委員会主催　幼児教育部全体会研修　講師　1 月 21 日　於：伊東市役所
◆ 伊東市健康推進課主催　東海バス職員対象メンタルヘルス研修会　講師　2 月 2 日、7 日、14 日　於：伊東市観光会館
◆ 熱海保健所主催　ゲートキーパースキルアップ研修会　講師　　3 月 7 日　於：熱海保健所

Be サポート　会員募集

NPO 法人とは利益を目的とせず、社会や地域のニーズを追求し応える活動を行う団体です。臨床心理士を中心とした有志で Be サポートを設立しました。専門的な視点から地域のさまざまなこころの問題に取り組んでいます。現在、正会員 53 名、賛助会員 9 名、学生会員 1 名（2017.5 時点）で活動しております。私たちの活動を応援してくださる会員の方を募集しております。会員の方へは会報誌の送付、研修会や講演会の参加費用免除が適用されます。また地域で働く援助職の方には、ネットワークづくりとしても活用していただいております。会員登録を希望される方は Be サポート事務所までご連絡ください。

特定非営利活動法人　臨床心理オフィス　Be サポート

クローバー通信

2017 年 6 月 10 日発行　Vol.14

NPO 法人 臨床心理オフィス Beサポート
〒4100056 沼津市高島町 29-11 盟萌ビル 201
Tel/Fax　055-925-1701
Mail　be-sapo@mail.wbs.ne.jp
HP　http://be2011.jimdo.com/
発行責任者　皆川行寛

更なる着実な発展を　　Be サポート監事　池田　政雄　氏

私は、法人設立以前から皆川理事長と思いを共にし活動させて頂いてきました。平成 23 年の法人設立以後は、監事としてずっと法人の事業や会計を見てきました。丸 6 年間の活動の素晴らしいと感じたことと、今後の活動についての思いを述べたいと思います。

ここまで頑張ってこられたのは皆川理事長の強い指導力と決断力、そして本当に倒れてしまうのではないか、と思うくらいの理事の皆さんの働きがあったこと、更には会員の皆さん方の強力なバックアップがあったからでしょう。本当に、悩みを抱えた当事者のご家族が期待されている素晴らしい事業を展開していると思います。

平成 17 年「発達障害者支援法」が施行され、平成 22 年「障害者自立支援法」「児童福祉法」に発達障害が位置づけされ、それ以降の障害者関連法の施行や改正を経て、平成 28 年に「改正発達障害者支援法」が施行されました。厚労省の法改正の資料を見てみると、「診断やカウンセリング等を受けるために医療機関を受診した発達障害者数」は、平成 14 年度 3.5 万人、平成 26 年度 19.5 万人と 5.6 倍となっています。また平成 24 年度文科省の調査では、発達障害の可能性のある教育的支援を必要とする生徒の割合は 6.5%（推計値）となっています。

改正法で私が気になったのは、一つは権利利益の擁護（12 条）中にある［差別の解消、いじめ・虐待の防止・・］という部分、もう一つは、国民に対する普及及び啓発（21 条）［学校、地域、家庭、職域その他様々な場を通じて］という部分です。前者は相変わらず各地で起こっています（東日本大震災の避難者も含め）。後者はどの法律にも書いてあって、最も行政が苦手で下手です（きちんと啓発活動ができているのを私は知りません）。

私が今後望むものとして、自前での地域における講演会・講座などの啓発活動の更なる展開です。そのことによって、臨床心理士の仕事内容や理解や法人への期待が進むのではないかと思います。「金の切れ目が縁の切れ目」と東日本大震災の避難者への支援活動から手を引いていった多くの法人がある中、「避難者支援活動　OHANA」を続けてきている経験も活かしながら、更なる地域貢献・法人の発展を心から望んでいます。

※池田政雄氏は、静岡県東部健康福祉センターを退職後、県東部地域の障害者福祉に尽力され、当法人の設立当初からご指導ご協力いただいています

Be サポ　ギャラリー

春休み中に、「障害児・者総合サポートセンター みつばち」内の放課後等デイサービス「かりん」に来ている子どもたちが作った作品です。
花紙を 4 分の 1 に切り揃え、一枚ずつ丸めていきます。それを、下絵を描いた紙にひとつずつ貼りました。縦 1 メートルを超す大きな作品で時間もかかりましたが、みんな根気よく完成目指して頑張ってくれました。
玄関に飾ったので、送迎にいらした保護者の方にも見てもらっています。

活 動 報 告

第６回　総会報告

5 月 2 日、サンウェルぬまづの中会議室にて第 6 回総会を開催致しました。皆川理事長が議長に選出され、正会員総数 53 名、内出席 11 名、委任状による出席 4 名、書面表決による出席 15 名、合計 30 名と過半数が出席しているため、本総会が有効に成立されたことを宣言し、議題の審議を行いました。第 1 号議案から第 5 号議案まで厳粛に審議が行われ、全員異議なく承認可決されました。また、法人の活動の理念や目的を広く伝えることに努めてほしいというご意見があり、法人の今後の課題として受け止めました。

総会終了後は、障害児・者総合サポートセンターみつばちを会場にして、ささやかですが懇親会を行いました。これまでは飲食店で開催していましたが、みつばちでの開催は気兼ねなくおしゃべりが出来、とても和やかな雰囲気の懇親会になったと思います。

顧問の静岡大学の江口教授も、お忙しいなか総会・懇親会に参加してくださいました。江口教授始め、普段なかなかお会いすることのできない会員同志親睦を深める機会になったこと、大変嬉しく思います。

障害児･者総合サポートセンター　みつばち

児童発達支援「あんず」では、この春 4 名が小学校に進学をして、6 名が幼稚園や保育施設に入園するため、卒所していきました。

「あんず」のお子さんが成長して、それぞれの入学入園の時期になると、スタッフはとても喜ばしい反面、淋しい気持ちにもなります。ですので、卒所したお子さんのお母さんから新しい生活のなかで、元気に過ごせている様子や成長の様子をうかがうことが出来たときには、とても嬉しいです。

「あんず」から卒所し、新入学と同時に放課後等デイサービス「かりん」に通ってくれる子もいて、小学校に入学して、急にお兄さんらしくなった様子に驚かされます。そして、これからも成長を見守ることができることをうれしく思います。

新年度になり、新しいメンバーも増えてきました。初めは不安な表情を浮かべていた子も徐々に慣れ、生き生きとした表情を見せてくれるようになってきました。暖かくなってきたので、公園で運動をする設定活動も増えてきています。新しい活動としては、プランターに野菜や花を植え、朝顔の種まきをしたので、水やりや植物の観察をするようになりました。自分の植えた野菜や花の成長を見ることは楽しく、小さなじょうろでの水やりも、子どもたちは大好きなようです。

夏に向けてぐんぐん成長していく植物のように、元気いっぱいに成長していく「あんず」の子どもたちがこれからも笑顔いっぱいで活動できるよう、サポートしていきたいと思います。

おおきくなあれ

みなさんのお仕事　教えてください！第７回「　乳幼児健診事後教室　」について

市町で実施する乳幼児健診では、お子さんが健やかに成長しているか、問診や診察で確認していきます。健診場面で、「ことばが気になる」「落ち着きなく目が離せない」「コミュニケーションがとりにくい」「体の動かし方がぎこちない」等の気になる様子のお子さんがいる場合があります。そういった、心身の発達の偏りや成長のペースが心配されるお子さんとその保護者を対象に、事後教室は行われます。

事後教室とは、保育士、保健師、臨床心理士など、多職種の専門家が関わり、小集団での遊びや親子のふれあい遊びを通して、発達を促す関わり行う場所です。教室が始まる前には、当日の活動の内容とそれぞれの子どもの目標をスタッフで共有します。教室が終わってからは、様々な活動場面で、それぞれのお子さんができた事・出来なかった事、その時の様子などを報告しあい、次回からの活動に活かせるよう話し合います。

心理士は、子どもの活動の様子から発達のアセスメントをしたり、活動に参加しやすい方法を工夫したり、保護者の方の子育ての悩みや不安をうかがってアドバイスをしたりします。

事後教室は、療育が必要なお子さんに対し、早期発見・早期療育を行える場所です。そこに、臨床心理士が関わることの意味を考えながら、今後も関わらせていただきたいと思っています。

活 動 報 告

県ひきこもり支援センター居場所設置運営事業「なごみ」

昨年 9 月より静岡県の委託を受けてスタートしたひきこもり居場所支援事業は、今年度も委託が決まりました。

名前は「なごみ」。当法人事務所の 3 階の温かい日差しが差し込むお部屋で、名前の通り「自分の部屋のようにくつろげる」との感想を持たれる方が多いようです。

3 月末までの利用登録者は 2 名と少なかったですが、満足してご参加いただけました。初めは緊張気味だった利用者さんも、ボードゲームなどでスタッフと遊びながら過ごす中で、少しずつ打ち解けてきて、ご自身の事や悩み、今後の事などを話されるようになりました。社会復帰を目指すため、次のステップに移りたいという希望により、3 月いっぱいでいったん卒業する事となりました。短い期間でしたが、他の人と話すことで安心し、自信が出てきたのかもしれません。

居場所では、ひきこもりがちの方への社会復帰のお手伝いをしますが、社会復帰も順風満帆とはいかない事も多いです。少し進んでは少し戻ることもあるでしょう。疲れたらちょっと立ち寄って一休みできるようなところでありたいと思います。

4 月からは不登校の生徒さんの対応経験のある教師もスタッフに加え、高校生以上の不登校の子どものための学習支援体制も整えました。他の人との関わりが苦手、居場所が見つからない、社会や学校への復帰のきっかけが見つからない、という方、ぜひお問い合わせください。

なごみ　のご案内

開所日時：毎週金曜 10 時～3 時の間の
お好きな時間
場　　所：沼津市高島町 29－11
盟萌ビル 303 号室
参 加 費：無料（昼食代･材料費などは別途）

お問合せ先
静岡県ひきこもり支援センター
054－286－9219
Be サポート　055－925－1701

東日本大震災被災者支援事業 OHANA

2 月 11 日、静岡市の丸子散策、登呂遺跡見学、久能山のイチゴ狩りを楽しみました。静岡県社会福祉協議会のふれいあい基金を頂いての事業です。

静岡の伝統工芸を紹介する「駿府匠宿」では、子どもたちとお母さんたちが、記念の名前入りのキーホルダー製作をしました。吐月峰柴屋寺や旧東海道の面影が残る丸子宿を散策した家族もありました。登呂遺跡は、社会科見学したことがある子どもたちが多かったですが、竪穴式住居の中を見学したり縄文時代の道具を体験したりなど、大人の方も興味津々でした。イチゴ狩りでは、大粒のあまーいイチゴを口いっぱいに頬張り、静岡の早春の味を思う存分堪能していただけたようです。

移動のバスの中などでは、避難者の方々が現状報告や今後の相談などをする姿が見られました。時折集まるこうした会を今後も希望されており、継続をお約束しました。

避難しているお母さんたちの就労のサポートと、被災体験のために遅れがちだった学習面のサポートのために、H 25 年から実施してきた「長期休みの児童預かり事業・OHANA 学校」は、参加していた子どもたちが全て小学校卒業となったため 3 月末で閉校になりました。卒業を祝う会では、子どもたちの成長をアルバムにしてお渡しし、みんなの成長を改めて感じました。

なお、経済的に余裕のない家庭も多いことから、今年度は小中生の学習サポート「OHANA 塾」を行う予定で、現在福島県の助成金を申請中です。お手伝いいただける会員の方を募集しています。